

6:2 神はモーセに告げて仰せられた。「わたしは主である。
6:3 わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに、全能の神として現われたが、主という名では、わたしを彼らに知らせなかった。
6:4 またわたしは、カナンの地、すなわち彼らがとどまった在住の地を彼らに与えるという契約を彼らに立てた。
6:5 今わたしは、エジプトが奴隷としているイスラエル人の嘆きを聞いて、わたしの契約を思い起こした。
6:6 それゆえ、イスラエル人に言え。わたしは主である。わたしはあなたがたをエジプトの苦役の下から連れ出し、労役から救い出す。伸ばした腕と大いなるさばきとによってあなたがたを贖う。
6:7 わたしはあなたがたを取ってわたしの民とし、わたしはあなたがたの神となる。あなたがたは、わたしがあなたがたの神、主であり、あなたがたをエジプトの苦役の下から連れ出す者であることを知るようになる。
6:8 わたしは、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓ったその地に、あなたがたを連れて行き、それをあなたがたの所有として与える。わたしは主である。」
6:9 モーセはこのようにイスラエル人に話したが、彼らは落胆と激しい労役のためモーセに聞こうとはしなかった。
6:10 主はモーセに告げて仰せられた。
6:11 「エジプトの王パロのところへ行行って、彼がイスラエル人をその国から去らせるように告げよ。」
6:12 しかしモーセは主の前に訴えて言った。

「ご覧ください。イスラエル人でさえ、私の言うことを聞こうとはしないのです。どうしてパロが私の言うことを聞くでしょう。私は口べたなのです。」
6:13 そこで主はモーセとアロンに語り、イスラエル人をエジプトから連れ出すため、イスラエル人とエジプトの王パロについて彼らに命令された。

神様の約束のことばは力強く、恵みにあふれていました。しかし民は「聞こうとは」しませんでした。苦役があったからです。このように神様のみこころを聞く余裕のない人も多くいます。
このことは今後のモーセにとって訓練となることでした。民が神のことばを聞こうとしないのは、荒野で何度も起こるからです。神様はモーセだけでなく、モーセも含めて民全体を訓練しようとなさったのです。
苦しいことがあるからこそ、私たちは主に聞きましよう。それが本当の解決なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

